



やなぎしましょう 柳島小だより

令和5年 12月1日
茅ヶ崎市立柳島小学校
校長 赤池 理

学校教育目標 — 21世紀を担う柳島小学校の子どもたち —
豊かな心を持ち、意欲的にたくましく生きる子どもの育成

今年は例年より少しはやく、12月22日が授業の最終日となります。12月に学校へ来る日は16日間です。その中に、学級や学年で様々なイベントが計画されています。学校全体でも、児童委員会が、全校集会活動「ミッションクリア」「柳小ウォークラリー」を計画しています。今年はたてわりグループで取り組み、1年生から6年生までが同じグループに入り、カードを探して問題文を完成させ、その答えを考えます。大事なことは協力です。一人ひとりが自分勝手な行動ではなく、グループみんなで力を合わせて謎を解いていってほしいと思います。

また12月は、「学校へ行こう月間」となっていますので多くの方々の来校をお待ちしております。ぜひとも子どもたちの姿を、授業中の態度や友だちとどのように過ごしているのかをご覧ください。そして、各家庭の団らんで話題にしてくれるとうれしく思います。

キャンプ

11月8日、9日の2日間、5年生は足柄ふれあいの村へキャンプに行きました。天候にも恵まれ、カレー作りやキャンプファイヤー、ナイトウォークなどの活動を行いました。お米や野菜になかなか火が通らなかつたり、片づけに苦労したりしながらも、自分たちの力で作ったカレーやホットドッグはとてもおいしかったようです。

大自然に囲まれて、普段とはちがう幻想的な世界にいたことを、「アニメのような星」や「トトロの世界にいる」など、さまざまな表現で感想に表してくれています。家族と離れ、自炊さらに友だちと一緒に一晩を過ごしたこの貴重な経験は、これからの大きな財産となります。

地区音楽会

4年生は12月1日に柳島小学校の代表として、「第66回茅ヶ崎寒川地区小学校音楽会」に参加しました。みんなで心をつなげて声を合わせて歌った曲の題名は「MIDORI～繋がる輪～」です。「緑のほしで、緑がつなぐ心と心ですてきな出会いがどんどん広がって、海をこえ世界中の仲間と広がって成長してほしい」という願いをこめて選曲したそうです。

インフルエンザの流行で、なかなか全員はそろわなかったものの、本番に向けて一生懸命に練習してきました。その成果を存分に発揮し、本番はとて立派に歌うことができました。そして、歌い終わった後は満足感で全員笑顔になっていました。

